

共感力と共汗力、
そして実行力をもって！



それでも僕は仕事に向かう！

いその
弘三



目黒区議会議員4期16年をふりかえり

目黒区議会議員

いその 弘三の

いそのめぐろ 弘幸報

〈いその弘三〉プロフィール

- 1979年 目黒区立大岡山小学校卒業
 - 1982年 目黒区立第八中学校卒業
 - 1985年 私立日本学園高等学校卒業
- 硬式野球部にて西東京大会第一シード校のエースとして汗を流した。
- 昭和54年11月
富士重工業(株)にて硬式野球部(実業団野球部)所属後、実家である地質調査・さく井業を手伝い、その後、総合ビル管理会社の環境管理室にてビル管理システム開発業務改善、新技術導入などを担当
 - 平成15年
目黒区議会議員初当選
 - 平成19年
目黒区議会議員二期目当選
 - 平成21年
目黒区監査委員に就任
 - 平成23年
目黒区議会議員三期目当選
企画総務委員長(王貞治名誉区民憲章に委員長として携わる)
 - 平成23年度・24年度二年連続議会運営委員長
・生活福祉委員長・文教委員長・都市環境副委員長を歴任
自民党目黒総支部 広報委員長
・自民党目黒区議団では、副幹事長・政務調査会長を歴任
 - 平成25年度自民党目黒区議団幹事長
 - 平成26年5月
臨時本会議において全議員の投票により目黒区議会第66代議長に就任
 - 平成26年
目黒区軟式野球連盟理事
 - 平成27年4月
目黒区議会議員選挙4期目の当選を果たす
 - 平成27年
公益社団法人東京都柔道整復師協会
目黒支部顧問就任
 - 平成28年度目黒区監査委員



現在

- 目黒区議会企画総務委員会
- 国際交流目黒区議員連盟会長都市計画審議会委員
- 生涯学習推進協議会委員
- まちづくり基金運用委員会委員
- 地域保健協議会委員
- 地域福祉審議会委員
- 国民保護協議会委員
- 目黒区社会福祉協議会参与
- 目黒区体育協会参与
- 自民党目黒総支部青年部長
- 自民党目黒総支部広報委員長
- 青少年問題協議会委員
- 民生委員推薦会委員
- 共同基金目黒地区協力会委員
- 防災会議委員
- 東京河川改修促進連盟会員
- 目黒区社会福祉協議会参与
- 目黒区住宅・街づくりセンター評議員
- 自民党東京都連青年局研修副委員長等 歴任



●目黒シティラン
原 辰徳監督と
議長時代に実現しました。2020東京オリンピックに向け機運を醸成させる目的ですが実は防災の避難訓練の側面もあります。多くの人を短時間で移動させるシミュレーションにもなります。



●山手通りの拡張と大橋ジャンクション
山手通りの渋滞解消が実現しました。電柱の地中化、自転車用歩道、中央分離帯の緑化などいろいろな計算がされています。完成も楽しみです。



それぞれの思い
それぞれのカタチで
明日の目黒の為に一緒にできること



●烏森小学校第2学童
学童保育児童の増加で寄付用金を活用し第2学童施設を進めました。



●上4公園の改修
公園遊具の老朽化に伴い遊具の交換の計画を利用者の声を集約し、皆様の声を反映した公園ができました。

●空き家対策
全国的に空き家が増える傾向の中、将来の目黒区の住環境やゴミ屋敷対策に早期着手を目的として担当係設置を働きかけました。

●ふるさと納税
住民税がふるさと納税に流れる中目黒区財政を支えるため子ども子育て応援基金、スポーツ振興基金、学校施設整備基金を設立。使途のはっきりした寄付をしてもらう事で納税者にも税控除が受けられるよう働きかけました。

安全・安心な街づくり

●防犯

- ・特殊詐欺ゼロ
- ・防犯カメラ設置のさらなる促進

●防災

- ・風水害への備え
- ・自然災害時の電力確保
- ・燃えない街へ(街頭の消火器増設)



高齢者が元気に暮らせる

●健康寿命の延伸

- ・寝たきりにならない介護予防と検診体制の充実
- ・生涯現役社会の実現

●介護体制の充実

- ・在宅医療と在宅介護の連携強化
- ・特別養護老人ホーム整備の更なる推進



子ども達が笑顔で輝く

●子育て支援

- ・待機児童ゼロ、待機学童ゼロ
- ・児童虐待のない目黒
- ・妊娠・出産から子育てまでの切れ目ない支援
- ・災害時の乳児用液体ミルクの推進



●教育環境の充実

- ・全区立小・中学校の体育館に冷暖房設備の設置
- ・子供の個性に寄り添う学校教育



女性の笑顔があふれる

●女性活躍

- ・女性特有の健康問題をサポート
- ・働きたい女性、働く女性を支援



未来に向かって新たな視点 一緒に元気な目黒をつくりましょう。

私、「いその弘三」は、「共感力と共汗力」2つのきょうかん力と実行力を持って16年間目黒と地域のために走り続けてきました。

しかし、平成29年11月26日に脳幹動脈解離による脳梗塞で病院に運ばれましたが、翌30年3月23日には議会へ復帰を果たさせていただきました。

まだ左半身の麻痺が残り仕事とリハビリの毎日ですが、その中から囚らずも医療・介護・福祉・都市整備の重要性などといった、いわゆる社会生活上における弱い方の視点も得ました。

今まで取り組んできた就学前児童に対しての政策や、子どもへの政策。現役世代への政策や高齢者への政策。さらに今回、医療・介護・福祉・都市整備の重要性といった実際に得た経験から見えるものも多くあり、私なりに取り組める事が使命と感じると共に、今までの様に出来なくとも、優しさを持った視点での政策展開はこれからの高齢化社会でも必要ではないかと背中も推され、改めて仕事へ向きあおうと決意致しました。

すでに突入している高齢化、人口減少社会、現在目黒区では人口が増えているという逆行現象がありますが、今後に対して長期的な視点が必要です。

真に生活の場面で必要とされるものとは何なのか？ 限られた予算の中で上手に予算を配分していかなければなりません。

16年間にわたる経験と今回の新たな視点を持って目黒の明日へ歩みたいと思います。